

IISS/RIEB シンポジウム・ビデオ上映会「神戸から未来へ ～ コンピューターの発展と社会」を開催

神戸大学経済経営研究所
後藤 啓 助教

2014 年 3 月 11 日に神戸大学経済経営研究所・経営機械化展示室が「情報処理学会・分散コンピュータ博物館」に認定されたのを機に、神戸大学経済経営研究所では 2 本の教材ビデオを制作しました。その完成を記念して、来る 3 月 19 日に神戸大学出光佐三記念六甲台講堂にて、IISS/RIEB シンポジウム・ビデオ上映会「神戸から未来へ～ コンピューターの発展と社会」を開催します。

1 本目のビデオは、経営機械化展示室に保存されている計算機器を含む戦前の計算機から、現在のコンピュータに至るまでのコンピュータの発展史を紹介したものです。神戸大学は戦中・戦前より平井泰太郎教授の指導の下、経営機械化を旗印に計算機の国内普及および国産化に尽力してきました。1941 年 5 月には、当時の日本法人 IBM より無償貸与を受ける形で、日本の大学としては初めてパンチカード・システム一式を導入した実績を持ちます。また、戦中にはパンチカード・システムの国産化を指導し、鐘淵実業製の分類機の試作に尽力してきました。展示室には当事の IBM 製と同系統の分類機、および鐘淵実業製の国産分類機が展示されています（詳しくはパンフレットを参照してください）。1 本目のビデオでは、アメリカの Computer History Museum の協力を受け、コンピュータが歴史的にどのように発展し社会の中で利用されてきたか、またその中の神戸大学の先駆的な試みなどを紹介します。

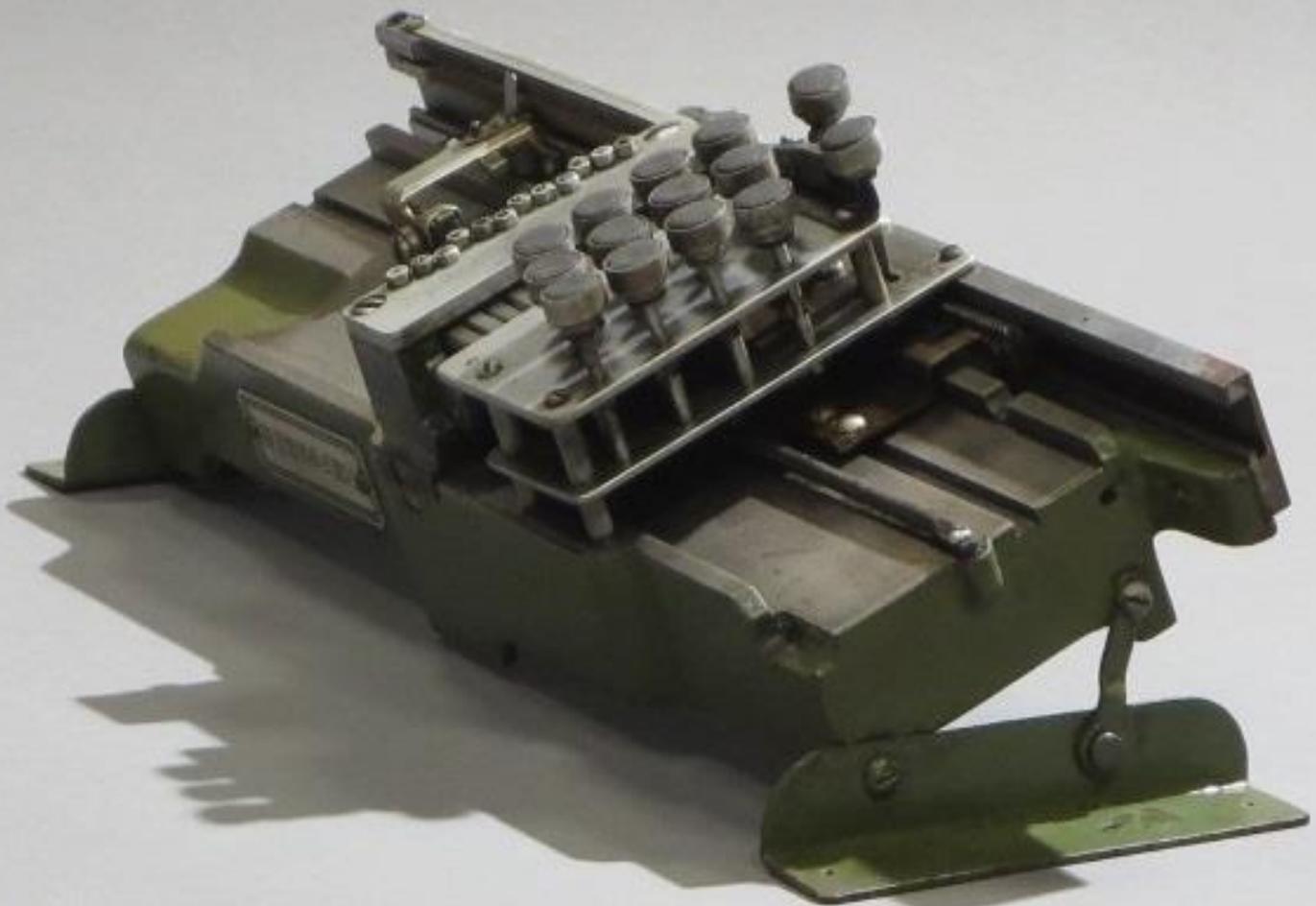
2 本目のビデオは、コンピュータがビッグデータの活用等の様々なイノベーションの現場でどのように生かされ、社会に貢献しているのかを紹介するものです。スーパーコンピュータを活用した医薬品の開発や Google, Yahoo, Apple などを見てもわかるように、コンピュータやそれを利用した IT サービスはイノベーションの主要な現場となっています。2 本目のビデオでは、国内外の IT・コンピュータ関連企業・研究所（IBM, オラクル, PARC など）の協力を受け、最新の活用事例や、今後の展望と課題など紹介します。

本シンポジウムでは、特別許可のもと撮影された国内外の貴重な映像と最先端の専門家へのインタビューで構成されたこれらのビデオを上映するとともに、ビデオにも登場する国内の第一人者達が講演します。

経営機械化展示室

神戸大学 経済経営研究所

情報処理学会認定・分散コンピュータ博物館



大変貴重な歴史遺産

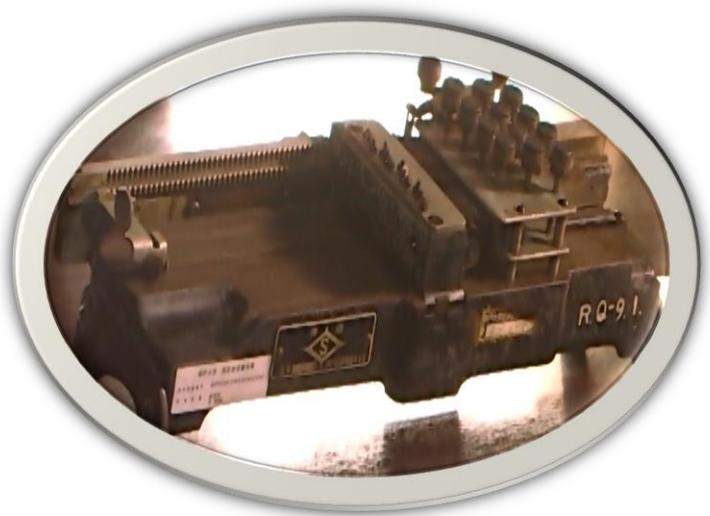
左の写真にある緑色の事務機械は、戦時中に神戸商業大学(現神戸大学)の平井泰太郎教授の指導の下、試作された分類機「鐘淵実業製」である。現存する国産分類機では唯一のもので、二〇一三年度に情報処理学会「分散コンピュータ博物館」に当展示室が選ばれた際、その目玉となったマシンである。

平井教授は、戦前から経営に事務機械を取り入れるべきだと考えていた。そのため、一九四一年五月に日本ワットソン統計会計機械会社(現日本IBM)よりパンチカード・システム一式を無償提供してもらい、神戸商業大学に経営機械化の研究・教育を旨とした経営計算研究室を立ち上げた。

一九四一年一月に太平洋戦争が勃発すると、日本ワットソンは敵国資産会社の指定を受け、資産凍結されたため、在日社員は行き場を失ったが、彼らに手を差し伸べ、いち早く国産化に着手したのが平井教授だった。その後、彼らは鐘淵実業で秘密裏に行われていた事務機械の国産化にも協力しながら、四二年末までに分類機を完成させた。その貴重なマシンが現在、経営機械化展示室で公開されている。この展示室には、平井教授らが国産化の手本にした欧米の事務機械、戦時中に開発した貴重な国産機、そして戦後の国産コンピュータなど、戦中・戦後に導入された二八点の歴史的機器が展示されており、日本の情報処理機器の歩みが一望できる大変貴重なコレクションとなっている。



鐘淵実業製分類機



神戸製鋼所製穿孔機

「パンチカード・システム」と言われる事務機械は、戦後に電子式のコンピュータが登場するまで、企業や政府のデータ処理業務の花形マシンであった。

これは米国のハーマン・ホレリスという若きエンジニアが一八九〇年の米国国勢調査のために開発したマシンが端緒となっている。彼は一八九六年にタビュレーティング・マシン社を設立、商用化に乗り出す。同社は一九一一年にいくつかの会社と統合されCTR社となり、一九二四年にIBM社と社名変更され、世界の情報処理ビジネスを席巻していくことになる。

この事務機械が「システム」と呼ばれる所以は、カードに穴をあけてデータを入力するための装置である「穿孔機」(写真右下)、入力したカードを目的別に捌く「分類機」(写真左上)、それら分類されたデータを集計し、印字する「製表機」といった三種の機械が、三位一体となって一つのデータ処理を行うからである。

経営機械化展示室には、戦時中に外国機を模して試作された鐘淵実業製の貴重な分類機と、戦後に作られたIBM社の分類機が並置されており、その異同を楽しむことができる。

*備考 見学は予約制です

ご連絡先

神戸大学経済経営研究所 総務係

〒657-18501 神戸市灘区六甲台町 2-1

電話番号 078-80317270

IISS/RIEB シンポジウム・ビデオ上映会

日時： 2015年3月19日(木) 13:30～
開催場所： 神戸大学出光佐三記念六甲台講堂
主催： 神戸大学社会科学系教育研究府
共催： 神戸大学経済経営研究所/サービス・イノベーション研究部会

神戸から未来へ コンピューターの発展と社会

ビデオ1： 計算機の誕生と興隆

ビデオ2： コンピューターと社会イノベーション

<参加費無料・事前申込制・先着500名>

申込先： 神戸大学経済経営研究所 共同研究推進室
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 2-1
TEL： 078-803-7036 FAX： 078-803-7059
E-mail： kenjo@rieb.kobe-u.ac.jp

写真(上)： IBM 社製計算機の展示会風景
(1941年11月神戸商業大学経営機械化室(当時))
写真(下)： Google Earth でみたシリコンバレー鳥瞰図
(2014年11月 Computer History Museum
にて撮影)

IISS/RIEB シンポジウム・ビデオ上映会

神戸大学出光佐三記念六甲台講堂

2015年3月19日(木) 13:30~

神戸大学は戦中・戦前より経営機械化を旗印に計算機の国内普及および国産化に尽力してきました。2014年3月11日に神戸大学経済経営研究所・経営機械化展示室が「情報処理学会・分散コンピュータ博物館」に認定されたのを機に、神戸大学経済経営研究所では2本のビデオを制作しました。1本目のビデオは、経営機械化展示室に保存されている計算機器を含む戦前の計算機から、現在のコンピューターに至るまでのコンピューターの発展史を紹介したものです。2本目のビデオは、コンピューターがビッグデータの活用等の様々なイノベーションの現場でどのように生かされ、社会に貢献しているのかを紹介するものです。本シンポジウムでは、特別許可のもと撮影された貴重な映像と国内外の最先端の専門家へのインタビューで構成されたこれらのビデオを上映するとともに、ビデオにも登場する国内の第一人者達が講演します。

***当日は、午前10時から午後6時まで、経営機械化展示室(分散コンピュータ博物館)を一般公開します**

プログラム

【開会】

13:30-13:35	開会の辞	福田 秀樹	(神戸大学長・教授)
13:35-13:40	挨拶	柳川 隆	(神戸大学社会科学系教育研究府長・教授)
13:40-14:00	ビデオ制作(サービス・イノベーション)プロジェクトの概要	伊藤 宗彦	(神戸大学経済経営研究所附属企業資料総合センター長・教授)

【ビデオ上映・講演 1】

14:00-14:45	ビデオ上映「コンピューターの発展と社会ー計算機の誕生と興隆」		
14:45-15:15	講演・解説「機械式計算機国産化の歴史と意義」	宇田 理	(日本大学商学部・准教授)
15:15-15:30	休憩		

【ビデオ上映・講演 2】

15:30-16:15	ビデオ上映「コンピューターの発展と社会ーコンピューターと社会イノベーション」		
16:15-16:45	講演・解説「コンピューターの発展と社会」	小柳 義夫	(神戸大学計算科学教育センター・特命教授)
16:45-17:15	講演・解説「コンピューターの高性能化により社会が変わる」	吉本 雅彦	(神戸大学大学院システム情報学研究科長・教授)

【閉会】

17:15-17:20	閉会の辞	上東 貴志	(神戸大学経済経営研究所長・教授)
-------------	------	-------	-------------------

※参加を希望される方は、お手数ですがご氏名、ご所属、ご連絡先(ご住所・電話番号・メールアドレス)を下記申込先へご連絡ください。(先着500名・参加費無料)

申込先: 神戸大学経済経営研究所 共同研究推進室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1

TEL: 078-803-7036 FAX: 078-803-7059 E-mail: kenjo@rieb.kobe-u.ac.jp

詳細: <http://www.rieb.kobe-u.ac.jp/academic/ra/seminar/index-j.html>